

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期十和田市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県十和田市

3 地域再生計画の区域

青森県十和田市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は2000年の69,630人をピークに減少が続いており、住民基本台帳によると2023年には58,328人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所に準拠した推計においても、2060年には38,968人まで減少するとされている。

年齢3区分別の人口動態をみると、国勢調査によると年少人口(15歳未満)は、2000年の10,969人から2020年には6,398人となり減少が続く一方、老年人口(65歳以上)は、2000年の12,670人から2020年には20,320人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定される。また、生産年齢人口(15～64歳)は、2000年の45,991人から2020年には33,001人となり、減少傾向にある。

自然動態をみると、2003年までは出生数が死亡数を上回る自然増が続いていたが、2004年以降は逆転し、出生数の減少及び高齢化に伴う死亡数の増加による自然減が続き、住民基本台帳によると2023年には出生数278人に対して死亡数952人となっている。また、合計特殊出生率をみると、2003年の1.49から2022年には1.35となり、減少傾向にある。

社会動態をみると、就職や大学進学等により転出するケースが多く見られ、1994年から1996年を除き、転出者が転入者を上回る社会減が続き、住民基本台帳によると2023年には転入者1,729人に対して転出者数1,751人となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、労働力人口の減少による社会経済活動の衰退や地域の担い手の減少による地域活動の停滞などが懸念される。

上記の課題に対応するため、誰もが本市に住みたくなる、地域愛と魅力にあふれるまちとなるよう、安定した雇用の創出、新しいひとの流れの創出、結婚・出産・子育ての希望の実現、時代にあった地域づくり等を通じて、自然減及び社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 ～十和田で“想い”のある仕事を～
地域の特性に応じた産業の成長と、安心して働ける環境の実現
- ・基本目標 2 ～十和田で豊かな人生を～
地域への新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標 3 ～十和田ではぐくもう人間愛を～
結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 ～十和田で育てよう地域愛を～
人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	農業産出額	2,526千円	2,608千円	基本目標 1
	観光消費額	498億円	590億円	
イ	社会増減数	▲22人	0人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.35	1.66	基本目標 3
エ	介護保険制度の要支援 1 ・ 2 の方の維持・改善率	89.6%	92.0%	基本目標 4
	居住誘導区域内の人口密度	29.1人/ha	32.6人/ha	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期十和田市まち・ひと・しごと創生事業

ア ～十和田で“想い”のある仕事を～

地域の特性に応じた産業の成長と、安心して働ける環境の実現事業

イ ～十和田で豊かな人生を～

地域への新しいひとの流れをつくる事業

ウ ～十和田ではぐくもう人間愛を～

結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ ～十和田で育てよう地域愛を～

人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

② 事業の内容

ア ～十和田で“想い”のある仕事を～

地域の特性に応じた産業の成長と、安心して働ける環境の実現事業

地域の稼ぐ力を高め、やりがいを感じることでできる魅力的なしごと・雇用機会を創出し、誰もが安心して働けるよう、行政、市内の様々な産業団体、企業などによる連携体制の構築を基礎とし、地域資源の発掘、磨き上げによる魅力ある地域産業づくりに取り組むとともに、新たな取組への挑戦や創業しようとする事業者の意欲向上につながる取組を支援する。また、多様化する価値観やライフスタイル・ワークスタイルも踏まえ、誰もがその力を発揮できる就業環境や自分の居場所を見出せる環境づくりを通じて、しごとの場であり生活の場である地域全体の魅力を高める事業。

【具体的な取組】

- ・とわだ製品の認知度向上及び販売拡大
- ・雇用・就労の支援 等

イ ～十和田で豊かな人生を～

地域への新しいひとの流れをつくる事業

魅力的な移住候補地として情報発信を進めるとともに、Uターン希望者の要望に応えられる受入支援体制を継続しつつ、特定の地域に継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大に取り組み、将来的な移住にもつながるよう、本市とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる事業。

【具体的な取組】

- ・関係人口の創出・拡大
- ・U I J ターン就職支援 等

ウ ～十和田ではぐくもう人間愛を～

結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

若い世代が希望どおりに結婚し子どもが持てるように、出会いから結婚、妊娠から出産、子育てに至るまで切れ目のない一貫した支援を充実するとともに、子どもや子育てを地域全体で見守り、継続して支援できる環境づくりを進める。また、出会いから結婚、出産・子育てに至るまで、各分野における民間企業・団体と連携調整のうえ、長期的視点に立った取組を進める事業。

【具体的な取組】

- ・民間活動団体等と連携した出会い・結婚の支援
- ・安心して子どもを産み育てられる環境づくり 等

エ ～十和田で育てよう地域愛を～

人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

市民がより良い健康習慣を身に付けるための取組を促進するとともに、持続可能な都市機能の維持を推進する。また、市民や地域づくりに関わる多様な団体が、主体的に考える対話の場づくりを進めるとともに、地域の暮らしを支える自治組織の立ち上げや人材の育成などの基盤を強化し、活動が促進される仕組みづくりを進める事業。

【具体的な取組】

- ・生涯にわたる健康の増進
- ・広域自治組織の育成 等

※ なお、詳細は、十和田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・第2期総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

6,000千円（2025年度～2026年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市ホームページでの公表を行う。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2027年3月31日まで

6 計画期間

2025年4月1日から2027年3月31日まで